

演奏所設備（コンテンツ制作技術）

（株）テレビ朝日殿向け報道制作支援システムの開発

Development of Management System for News and Production

小花麻純* 松原 祐一* 木曾 康治* 田上 博康*
 Masumi Kobana Yuichi Matsubara Yasuharu Kiso Hiroyasu Tagami

要 旨

地上デジタル放送開始に伴い、地上波のマルチ放送に加え、BS/CS放送、ブロードバンドなどの多チャンネル化を睨み、報道や制作などの番組の制作力向上を目的として報道・制作支援システムを開発しました。

本システムを導入することで、各部門との間で情報共有および、電子化を図ることができ、作業効率を大幅に改善することができました。

NEC has developed the management system for the News and Production. The system enables the user to easily support the On-Air and improve the workflow.

This paper describes the architecture and features of the management system.

1. まえがき

近年、テレビ局のニュースシステムにおいては、ON-AIR直前までの最新情報をいかに正確にタイムリに放送できるかが、非常に重要になってきています。これらの情報の入手先である取材予定や回線の発注情報、さらには、原稿情報を整理しておく必要があります。こうしたニーズに応えるために、報道や制作現場を支援するシステムが期待されています。

2. システムの特長

2.1 報道支援システム

報道支援システムは、従来、紙ベースや人間系により処理していた情報を電子化し、他システムとも連動させることで情報の効率化および、情報の統一化を図っています。報道支援システムの機能関連図を図1に示します。

本システムは、番組制作に必要な情報支援機能として、取材予定、編集情報、番組情報、キューシート作成、原稿作成を一元管理し、報道番組制作の業務効率化を実現しています。

また、他システムからの番組編成情報の取得や、素材のメタ情報やテロップ情報と連動することや回線発注を支援する回線発注機能も装備することで業務の効率化を実現しています。さらにON-AIR支援機能として、番組のON-AIR進行の補助を行うために素材IDの管理や、送出サーバへのプレイリスト送出、さらにON-AIR開始を知らせる音声メッセージ機能やON-AIR中の残り時間を表示する残時間時計表示機能を実現しました。

2.2 制作支援システム

制作支援システムは、企画から、取材ロケや中継管理、さらには、制作番組特有の台本管理や、番組の進行表を電子化することでペーパーレス化を行い、業務の効率化を実現しました。

制作支援システムの機能関連図を図2に示します。

3. システムの構成

報道支援システム（写真）と制作支援システムは、データベースサーバには、信頼性と高可用性で定評のあるCX5000シリーズを採用、SUNクラスタソフトウェアを使用し、データについては、ミラーリングを実施しています。また、他システムとのインターフェースには、同様に複数台のCX5000シリーズを採用し、ロードバランスを用いた負荷分散を行

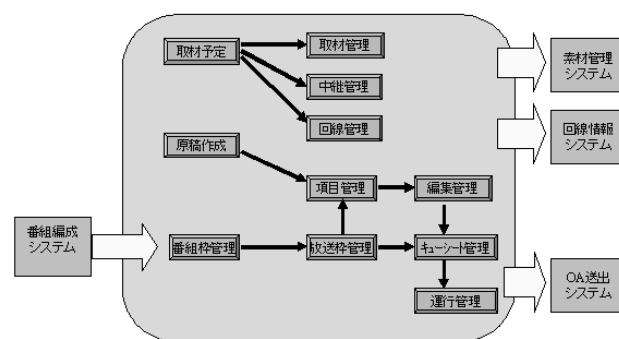


図1 報道支援システム機能関連図

Fig.1 Software block diagram of news management system.

* 放送映像事業部
 Broadcast and Video Equipment Division

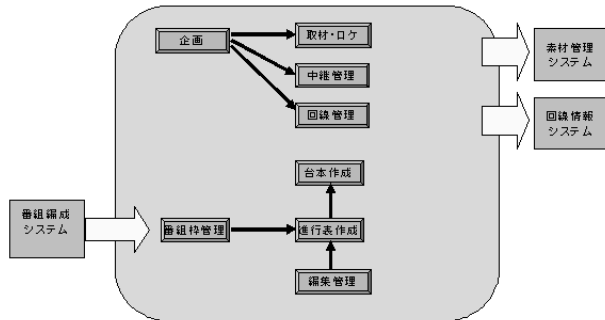


図2 制作支援システム機能関連図

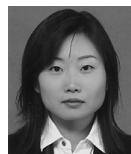
Fig.2 Software block diagram of production management system.

また、制作支援システムは、各番組ごとの管理を包括する形で情報共有提供型のシステムとなっています。したがって、報道支援システムと同様に他システムとの連動を行い、台本や進行表を一元管理し、番組作りに必要な情報共有を図ることができます。

仕様策定の際に要件定義を行い、数々の現場の意見をお聞かせいただいた(株)テレビ朝日殿、並びに共同開発者として(株)テレビ朝日サービス殿に感謝します。

* ORACLEは、米国Oracle社の登録商標です。
 * SUNは、米国およびその他の国における商標または登録商標です。

筆者紹介



Masumi Kobana
 こばな ますみ
小花 麻純 2002年、NEC入社。現在、放送映像事業本部放送映像事業部第三システム部勤務。



Yuichi Matsubara
 まつばら ゆういち
松原 祐一 1993年、NEC入社。現在、放送映像事業本部放送映像事業部第三システム部主任。



Yasuharu Kiso
 きそ やすはる
木曾 康治 1988年、NEC入社。現在、放送映像事業本部放送映像事業部第三システム部マネージャー。



Hiroyasu Tagami
 たがみ ひろやす
田上 博康 1980年、NEC入社。現在、放送映像事業本部放送映像事業部第三システム部長。



写真 報道支援システムラック外観

Photo External view of news management system.

うことで業務の集中時にも適切なリクエストの振り分けを行っています。その他のサーバには、Express5800シリーズを採用しています。

さらに、ソフトウェアとしては、データベースは、オープン系のシステムとして定評のあるOracleを採用しています。監視システムとしては、統合運用管理ミドルウェアWebSAMを採用し、監視端末での障害切り分けを行っています。

4. まとめ

報道支援システムは、従来の原稿管理システムなどの電子データシステムを融合し、紙ベースでの情報伝達手段を電子化する形での報道にかかわる総合型支援システムとなっています。したがって、番組編成システムからの情報を共有し、回線情報システムへの回線予約や、素材管理システムとの連動により、情報の統一化が図れます。さらに、オンエアにかかわる送出サーバやOTC (One Touch Control) システム、さらには、テロップシステムへのデータ送出により、番組制作の進行補助を行います。